

2.5 経営指標に関すること

2.5.1 償却資産

平成 29 年度価格に換算した償却資産額（現有資産の取得価格の総額）について、以下のとおり示します。

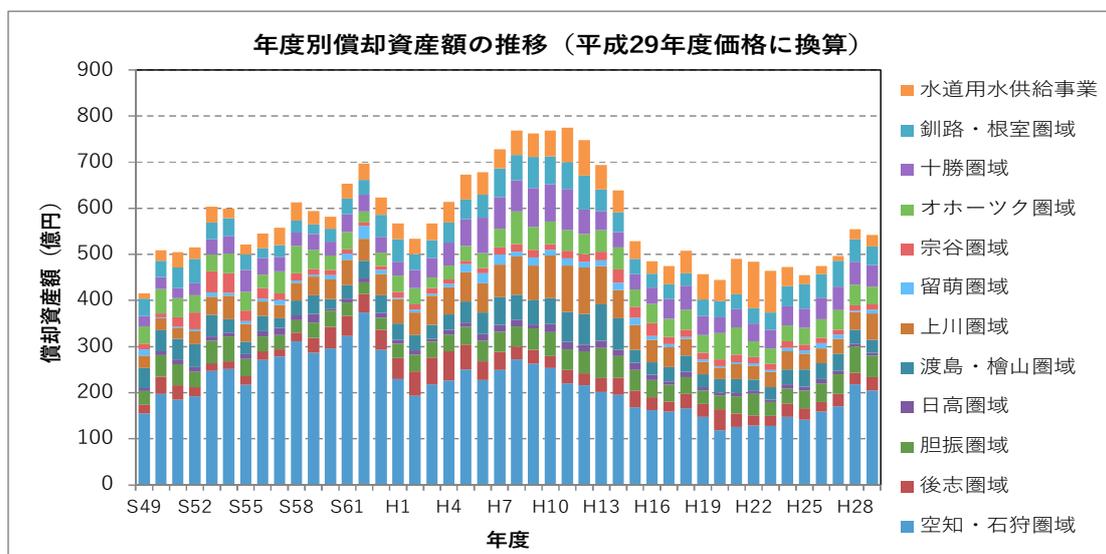
換算前の償却資産額については、法適用事業は平成 29 年度決算統計を基に算定しています。一方、法非適用事業は昭和 49 年度以降の建設改良費の積上を基に算定しています。

全道の償却資産額は 2 兆 5,387 億円であり、その内訳は上水道 2 兆 75 億円（全道の 79%）、簡易水道 3,506 億円（14%）、水道用水供給事業 1,806 億円（7%）となります。

また全道の償却資産額の構成は、管路が 73%、管路以外が 27%となります。

（単位：億円）

圏域名	上水道事業			簡易水道事業			合計		
	管路	管路以外	計	管路	管路以外	計	管路	管路以外	計
空知・石狩圏域	6,738	2,610	9,348	69	31	100	6,807	2,641	9,448
後志圏域	465	442	907	363	122	485	828	564	1,392
胆振圏域	1,255	222	1,477	177	83	260	1,432	305	1,737
日高圏域	208	23	231	170	47	217	378	70	448
渡島・檜山圏域	1,130	317	1,447	240	41	281	1,370	358	1,728
上川圏域	1,476	174	1,650	401	90	491	1,877	264	2,141
留萌圏域	174	44	218	172	31	203	346	75	421
宗谷圏域	243	161	404	274	39	313	517	200	717
オホーツク圏域	1,008	299	1,307	383	100	483	1,391	399	1,790
十勝圏域	1,282	149	1,431	444	60	504	1,726	209	1,935
釧路・根室圏域	1,157	498	1,655	100	69	169	1,257	567	1,824
全道	15,136	4,939	20,075	2,793	713	3,506	17,929	5,652	23,581
水道用水供給事業							575	1,231	1,806
全道（水道用水供給事業含む）							18,504	6,883	25,387
							(73%)	(27%)	(100%)



2.5.2 更新需要（H30-R50）

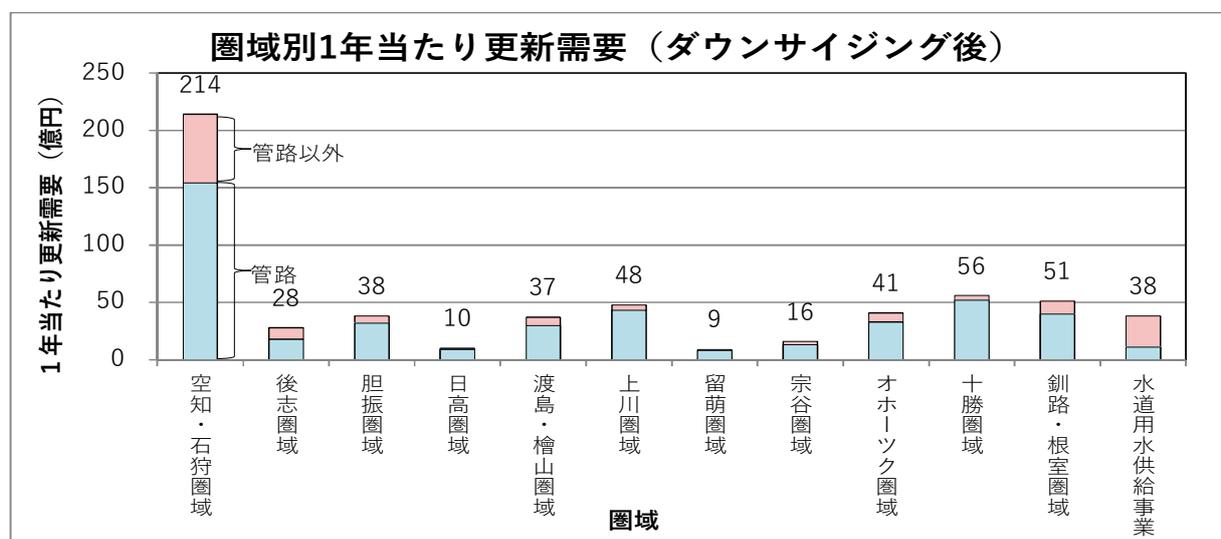
平成30年度から令和50年度までの51年間の更新需要の推計結果について、以下のとおり示します。

人口減少に伴う給水量の減少を想定して施設更新の規模縮小を見込んだダウンサイジング後の更新需要は、全道平均で1年当たり586億円で、ダウンサイジング前の更新需要に対し92.9%（管路95.5%、管路以外85.7%）となります。

圏域別では、留萌や宗谷の給水人口が小規模な圏域や、後志、渡島・檜山圏域において、ダウンサイジング率が大きくなっています。

（単位：億円）

圏域名	ダウンサイジング前			ダウンサイジング後				比較 ②/①
	管路	管路以外	計①	管路	管路以外	計②	1年当たり	
空知・石狩圏域	8,201	3,490	11,691	7,849	3,090	10,939	214	93.6%
後志圏域	981	682	1,663	936	515	1,451	28	87.3%
胆振圏域	1,697	344	2,041	1,617	297	1,914	38	93.8%
日高圏域	476	70	546	450	62	512	10	93.8%
渡島・檜山圏域	1,620	426	2,046	1,516	349	1,865	37	91.2%
上川圏域	2,299	294	2,593	2,179	248	2,427	48	93.6%
留萌圏域	424	82	506	394	72	466	9	92.1%
宗谷圏域	696	243	939	653	176	829	16	88.3%
オホーツク圏域	1,790	453	2,243	1,703	374	2,077	41	92.6%
十勝圏域	2,711	234	2,945	2,639	212	2,851	56	96.8%
釧路・根室圏域	2,104	682	2,786	2,042	552	2,594	51	93.1%
全道	22,999	7,000	29,999	21,978	5,947	27,925	548	93.1%
水道用水供給事業	635	1,496	2,131	583	1,335	1,918	38	90.0%
全道 (水道用水供給事業含む)	23,634	8,496	32,130	22,561	7,282	29,843	586	92.9%



2.5.3 給水収益

道内における給水収益（水道料金による収入）の状況及び推計結果について、以下に示します。

1) 圏域別給水収益推計

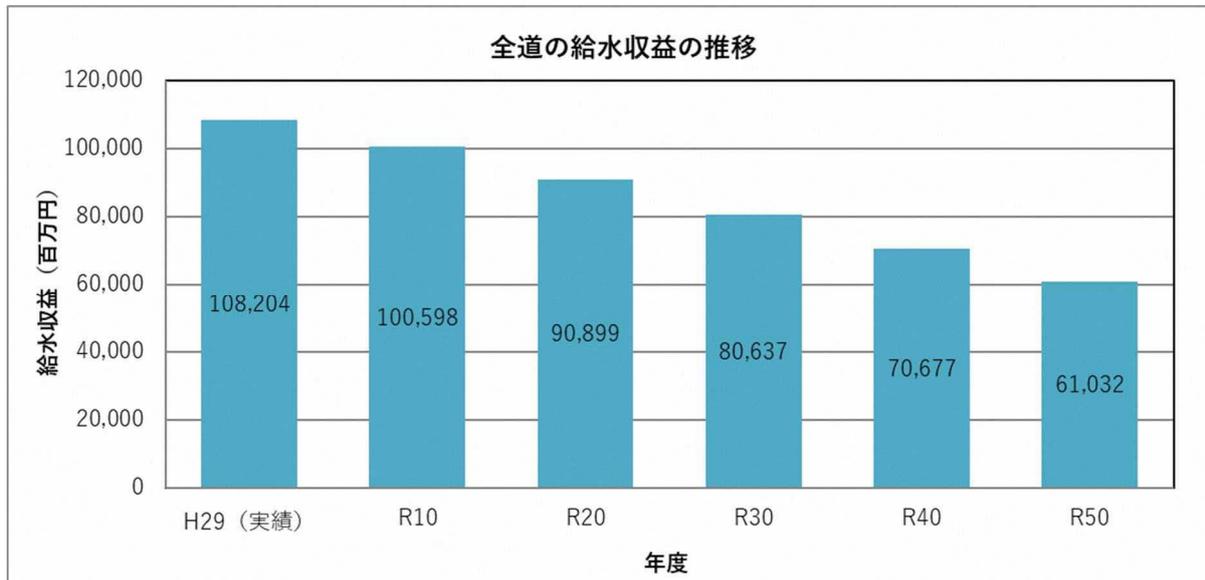
圏域別の水道事業における給水収益について、平成29年度実績値と令和10年度から令和50年度までの10年ごとの推計値を示します。

圏域名	H29 (実績)	R10	R20	R30	R40	R50
空知・石狩圏域 (千円)	51,854,298	49,437,537	46,202,977	42,242,360	38,025,194	33,573,849
(%)	(100.0)	(95.3)	(89.1)	(81.5)	(73.3)	(64.7)
後志圏域 (千円)	4,308,203	3,703,322	3,056,712	2,494,898	2,035,093	1,663,930
(%)	(100.0)	(86.0)	(71.0)	(57.9)	(47.2)	(38.6)
胆振圏域 (千円)	6,479,177	5,741,701	5,011,504	4,300,020	3,654,073	3,063,240
(%)	(100.0)	(88.6)	(77.3)	(66.4)	(56.4)	(47.3)
日高圏域 (千円)	1,581,767	1,314,431	1,094,896	899,781	734,801	599,492
(%)	(100.0)	(83.1)	(69.2)	(56.9)	(46.5)	(37.9)
渡島・檜山圏域 (千円)	7,172,596	6,033,250	5,005,489	4,056,172	3,237,725	2,541,938
(%)	(100.0)	(84.1)	(69.8)	(56.6)	(45.1)	(35.4)
上川圏域 (千円)	7,449,548	6,630,500	5,759,640	4,867,499	4,033,502	3,261,582
(%)	(100.0)	(89.0)	(77.3)	(65.3)	(54.1)	(43.8)
留萌圏域 (千円)	1,282,863	994,173	769,283	578,725	426,096	308,754
(%)	(100.0)	(77.5)	(60.0)	(45.1)	(33.2)	(24.1)
宗谷圏域 (千円)	1,965,170	1,563,107	1,228,944	937,184	698,464	506,654
(%)	(100.0)	(79.5)	(62.5)	(47.7)	(35.5)	(25.8)
オホーツク圏域 (千円)	6,268,607	5,399,424	4,624,010	3,878,372	3,203,624	2,604,311
(%)	(100.0)	(86.1)	(73.8)	(61.9)	(51.1)	(41.5)
十勝圏域 (千円)	7,523,744	7,106,553	6,617,935	6,048,522	5,439,108	4,794,178
(%)	(100.0)	(94.5)	(88.0)	(80.4)	(72.3)	(63.7)
釧路・根室圏域 (千円)	6,600,793	5,855,300	5,183,826	4,520,331	3,910,901	3,362,811
(%)	(100.0)	(88.7)	(78.5)	(68.5)	(59.2)	(50.9)
水道用水供給事業 (千円)	5,717,343	6,818,687	6,343,292	5,812,720	5,278,142	4,751,653
(%)	(100.0)	(119.3)	(110.9)	(101.7)	(92.3)	(83.1)
全道 (千円)	108,204,109	100,597,985	90,898,508	80,636,584	70,676,723	61,032,392
(%)	(100.0)	(93.0)	(84.0)	(74.5)	(65.3)	(56.4)

() 内は、H29 (実績値) を100とした値[給水収益比率]

2) 全道（北海道）の給水収益の推移

全道の水道事業における給水収益は、平成 29 年度の 1,082 億円から令和 50 年度には 610 億円とほぼ半減する見込みです。

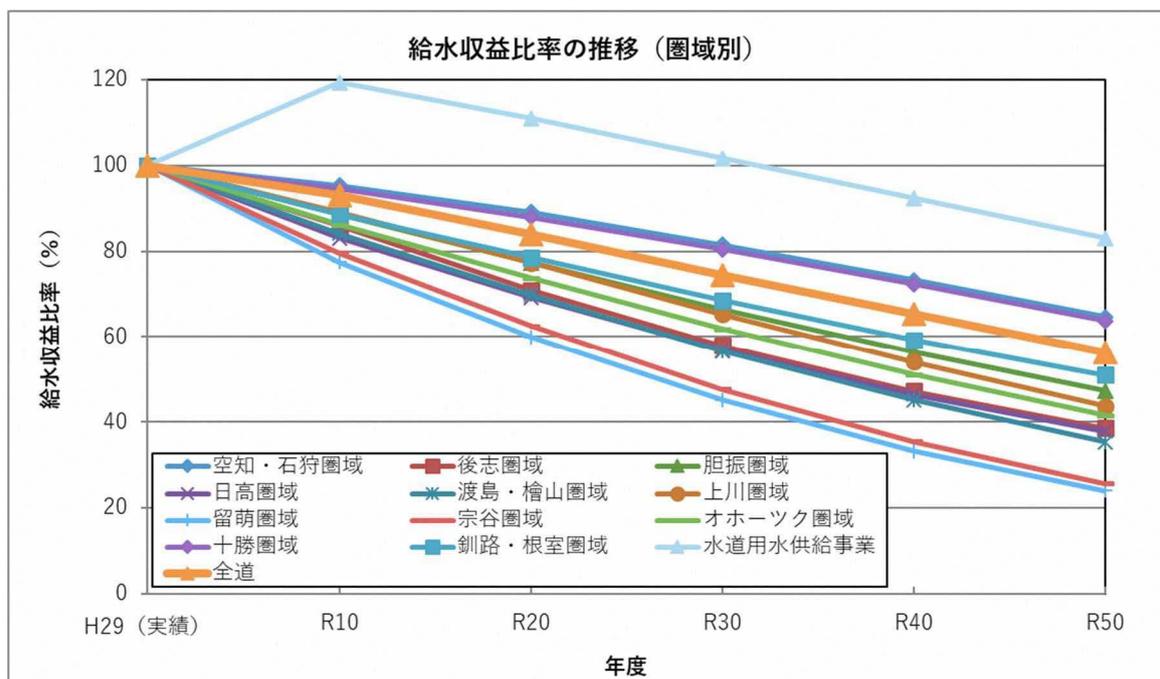


※H29 は実績値。それ以外は推計値。

3) 圏域別給水収益の推移

平成 29 年度実績値を 100 とした場合の圏域別の給水収益は、有収水量と同様に、留萌や宗谷、日高圏域など人口規模が小規模な圏域ほど減少幅が大きくなる傾向を示すほか、後志、渡島・檜山圏域でも大幅な減少が見込まれます。

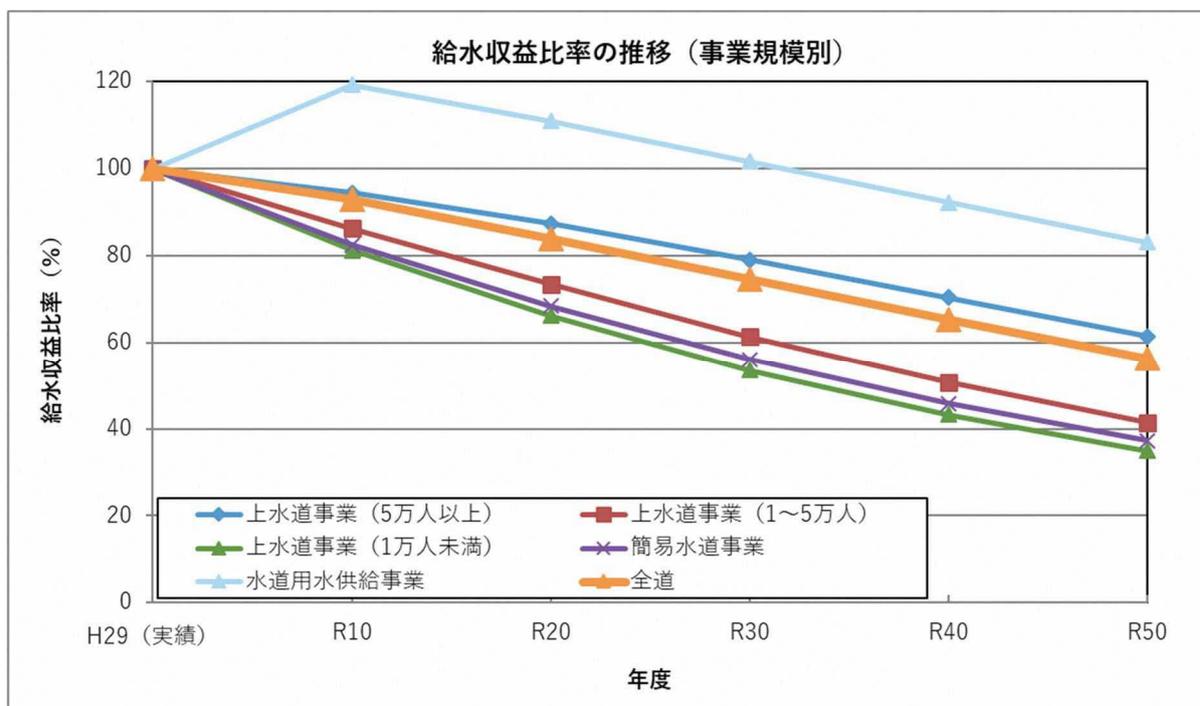
なお、水道用水供給事業で令和 10 年度に率が上昇しているのは、令和 7 年度に新たに水道用水の供給を開始する事業者があるためです。



※給水収益比率 (%) = 当該年度の給水収益 (推計値) / 平成 29 年度の給水収益 (実績値) × 100

4) 事業規模別の給水収益の推移

平成 29 年度実績値を 100 とした場合の事業規模別の水道事業の給水収益は、有収水量と同様に事業規模が小さいほど減少が大きくなる傾向を示しています。



※給水収益比率（％）＝当該年度の給水収益（推計値）／平成 29 年度の給水収益（実績値）× 100

2.5.4 収益性の指標

収益性の指標である経常収支比率（経常収入/経常費用）及び料金回収率（供給単価/給水原価）の状況及び推計結果について、以下のとおり示します。

なお、法非適用事業においては、収益的収支比率（総収益/(総費用+地方債償還金)）を用います。（以下同じ）

1) 経常収支比率(収益的収支比率)

経常収支比率は、給水収益や一般会計からの繰入金等の収益で維持管理費や支払利息等の費用をどの程度賄えているかを表す指標です。

圏域別の経常収支比率について、平成 29 年度実績値と令和 10 年度から令和 50 年度までの 10 年ごとの推計値を示します。

平成 29 年度の道内平均は 100%を超えており、全国平均と比べると同水準となっています。

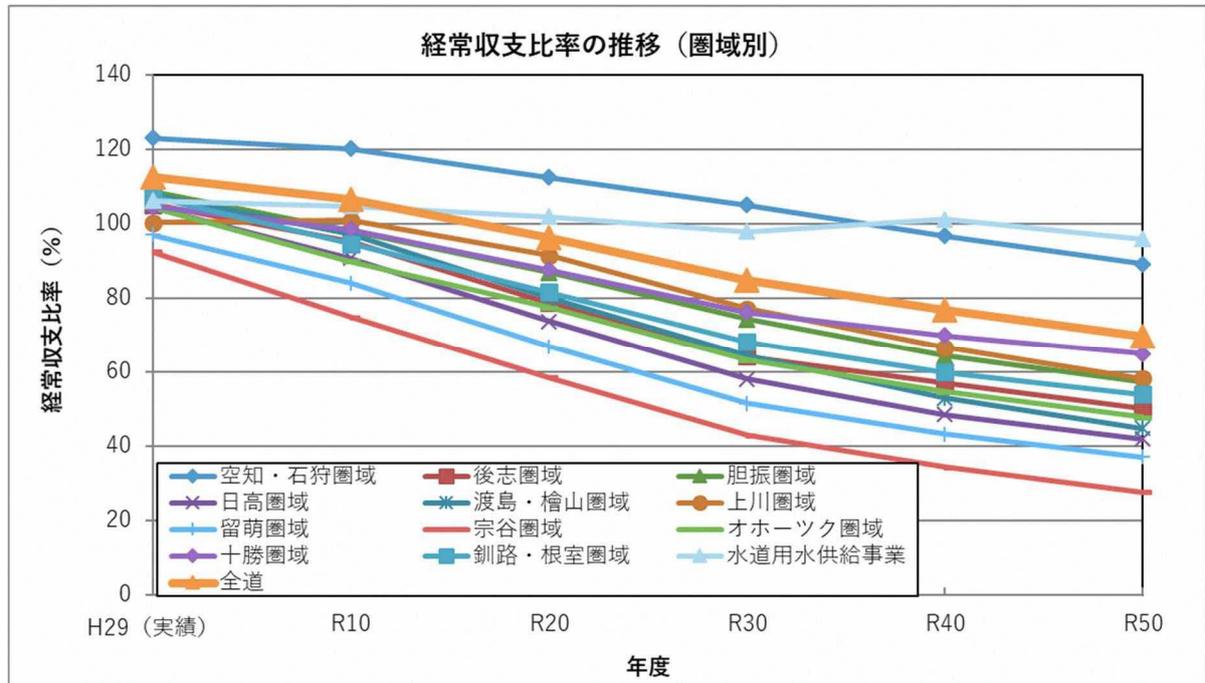
圏域名	H29 (実績)	R10	R20	R30	R40	R50
空知・石狩圏域 (%)	123.0%	120.2%	112.5%	105.0%	96.7%	89.2%
後志圏域 (%)	105.1%	95.3%	78.7%	64.2%	56.8%	50.1%
胆振圏域 (%)	108.7%	98.2%	86.9%	74.3%	64.3%	57.2%
日高圏域 (%)	104.5%	90.7%	73.7%	58.0%	48.5%	41.9%
渡島・檜山圏域 (%)	107.8%	97.3%	80.0%	64.3%	52.9%	44.7%
上川圏域 (%)	100.3%	100.8%	91.5%	77.1%	66.6%	58.1%
留萌圏域 (%)	97.0%	84.0%	66.9%	51.4%	43.2%	37.0%
宗谷圏域 (%)	92.5%	74.9%	58.5%	42.9%	34.3%	27.6%
オホーツク圏域 (%)	104.4%	89.8%	77.4%	63.2%	54.6%	47.7%
十勝圏域 (%)	104.6%	98.4%	87.6%	76.2%	69.8%	64.9%
釧路・根室圏域 (%)	107.1%	94.6%	81.6%	68.1%	59.8%	53.8%
水道用水供給事業 (%)	106.1%	104.7%	101.8%	97.9%	101.1%	95.8%
全道 (%)	112.5%	106.4%	96.1%	84.9%	76.8%	69.7%
全国 (%)	113.4%					

※経常収支比率(%) = 経常収益 / 経常費用 × 100

収益的収支比率(%) = 総収益 / (総費用 + 地方債償還金) × 100

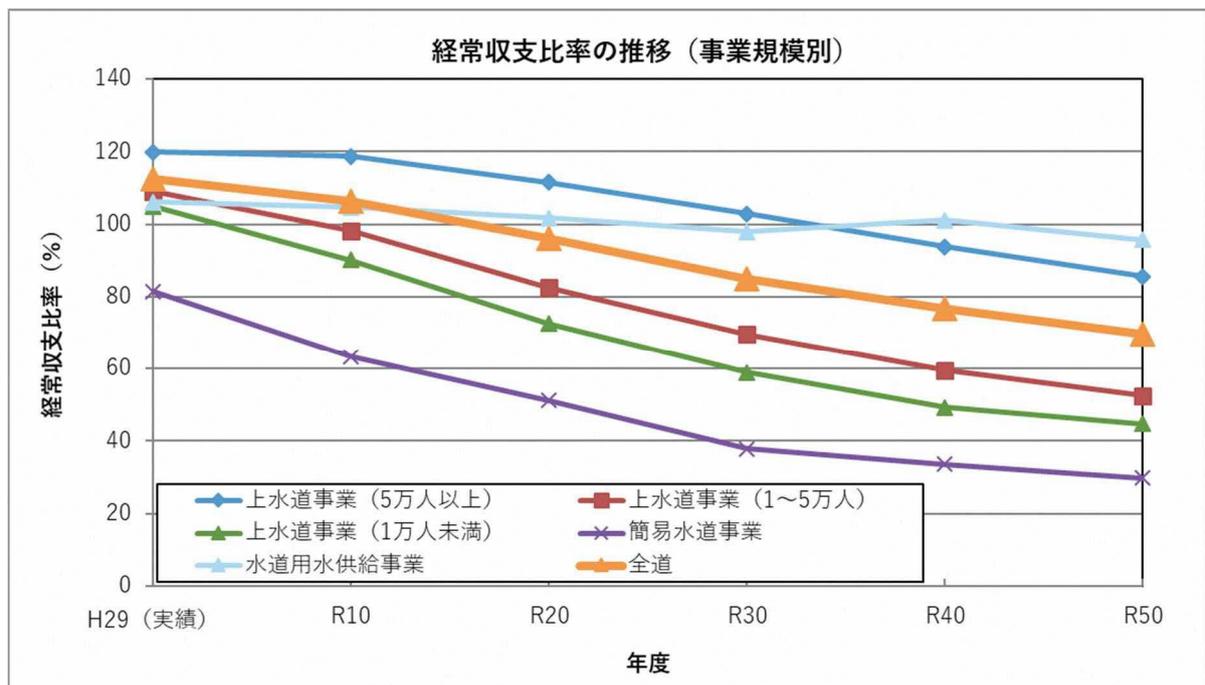
①圏域別経常収支比率の推移

圏域別の経常収支比率は、全圏域が令和50年度時点で100%を下回りますが、平成29年度実績で100%を下回っている留萌圏域、宗谷圏域のほか、日高圏域、渡島・檜山圏域で他の圏域よりも減少幅が大きく、圏域間の格差が広がっていきます。



②事業規模別経常収支比率の推移

事業規模別の経常収支比率は、推計期間を通じて、事業規模が小さいほど低く推移し、全事業規模が令和50年度時点で100%を下回ります。



2) 料金回収率

料金回収率は給水に係る費用が、どの程度給水収益で賄えているかを表す指標です。

圏域別の料金回収率について、平成 29 年度実績値と令和 10 年度から令和 50 年度までの 10 年ごとの推計値を示します。

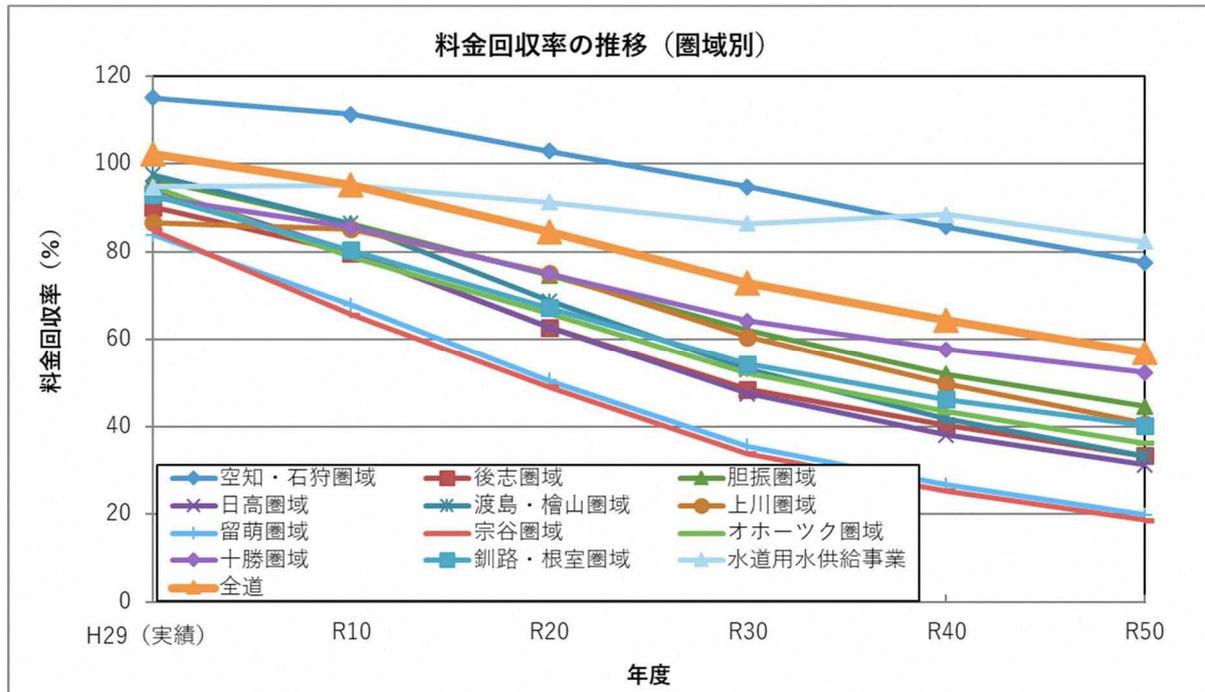
平成 29 年度の道内平均は 100%を超えているものの、全国平均と比べると低い結果となっているほか、ほとんどの圏域で 100%を下回っており、給水収益で給水に係る費用が賄いきれていないことを示しています。

圏域名	H29 (実績)	R10	R20	R30	R40	R50
空知・石狩圏域 (%)	115.0%	111.2%	102.9%	94.7%	85.7%	77.6%
後志圏域 (%)	90.2%	79.7%	62.8%	48.5%	40.3%	33.3%
胆振圏域 (%)	96.4%	86.4%	74.7%	62.1%	52.0%	44.6%
日高圏域 (%)	94.4%	80.0%	62.8%	47.5%	38.1%	31.3%
渡島・檜山圏域 (%)	97.5%	86.4%	68.8%	53.1%	41.8%	33.3%
上川圏域 (%)	86.7%	85.2%	75.1%	60.6%	49.7%	40.7%
留萌圏域 (%)	83.8%	67.9%	50.6%	35.5%	26.7%	19.9%
宗谷圏域 (%)	84.9%	65.7%	49.1%	33.8%	25.4%	18.7%
オホーツク圏域 (%)	94.7%	78.9%	66.1%	52.2%	43.4%	36.2%
十勝圏域 (%)	92.5%	85.6%	75.0%	64.2%	57.7%	52.4%
釧路・根室圏域 (%)	92.9%	80.3%	67.3%	54.3%	46.2%	40.2%
水道用水供給事業 (%)	94.8%	95.0%	91.2%	86.4%	88.5%	82.3%
全道 (%)	102.1%	95.3%	84.5%	72.9%	64.4%	56.8%
全国 (%)	104.4%					

※料金回収率(%) = 供給単価 / 給水原価 × 100

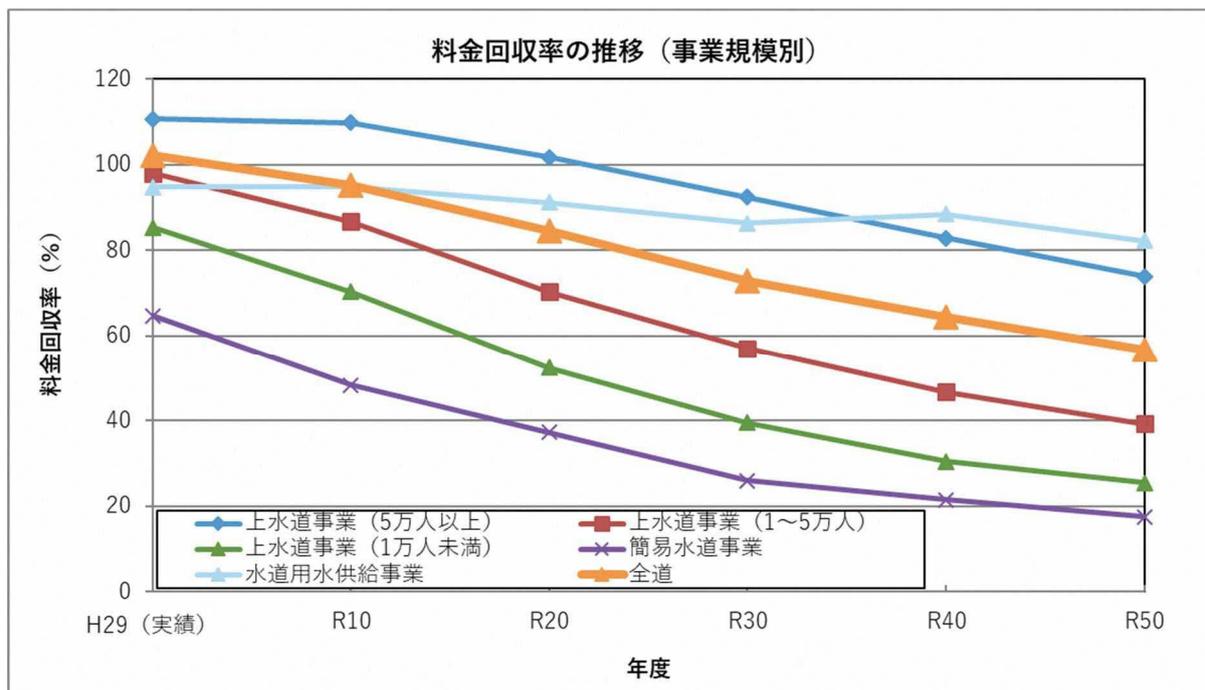
①圏域別料金回収率の推移

圏域別の料金回収率は、平成 29 年度実績で空知・石狩圏域を除き、全圏域で 100%を下回っており、空知・石狩圏域についても令和 30 年度時点で 100%を下回ります。また、給水収益の減少と同様に留萌、宗谷圏域など人口規模が小さな圏域で低く推移する見込みです。



②事業規模別料金回収率の推移

事業規模別の料金回収率は、推計期間を通じて、事業規模が小さいほど低く推移し、全事業規模が令和 30 年度時点で 100%を下回ります。



2.5.5 経営安全性の指標

経営安全性の指標である累積欠損金比率（累積欠損金／（営業収益－受託工事収益））、企業債残高対給水収益比率（企業債残高／給水収益）、流動比率（（流動資産／流動負債）、法適用事業のみ）の状況及び推計結果について次のとおり示します。

なお、法非適用事業においては、累積欠損金比率に代えて赤字比率（実質赤字額／（営業収益－受託工事収益））を用います。（以下同じ）

1) 累積欠損金比率（赤字比率）

累積欠損金比率は営業収益に対する累積欠損金の状況を、赤字比率は営業収益に対する実質収支上の赤字額の状況を表す指標です。

圏域別の累積欠損金比率について、平成 29 年度実績値と令和 10 年度から令和 50 年度までの 10 年ごとの推計値を示します。

平成 29 年度の道内平均は全国平均と比べると高い結果となっているほか、多くの圏域で全国平均を上回っています。なお、繰越利益剰余金のある事業者は、平成 29 年度実績を 0%として推計しています。

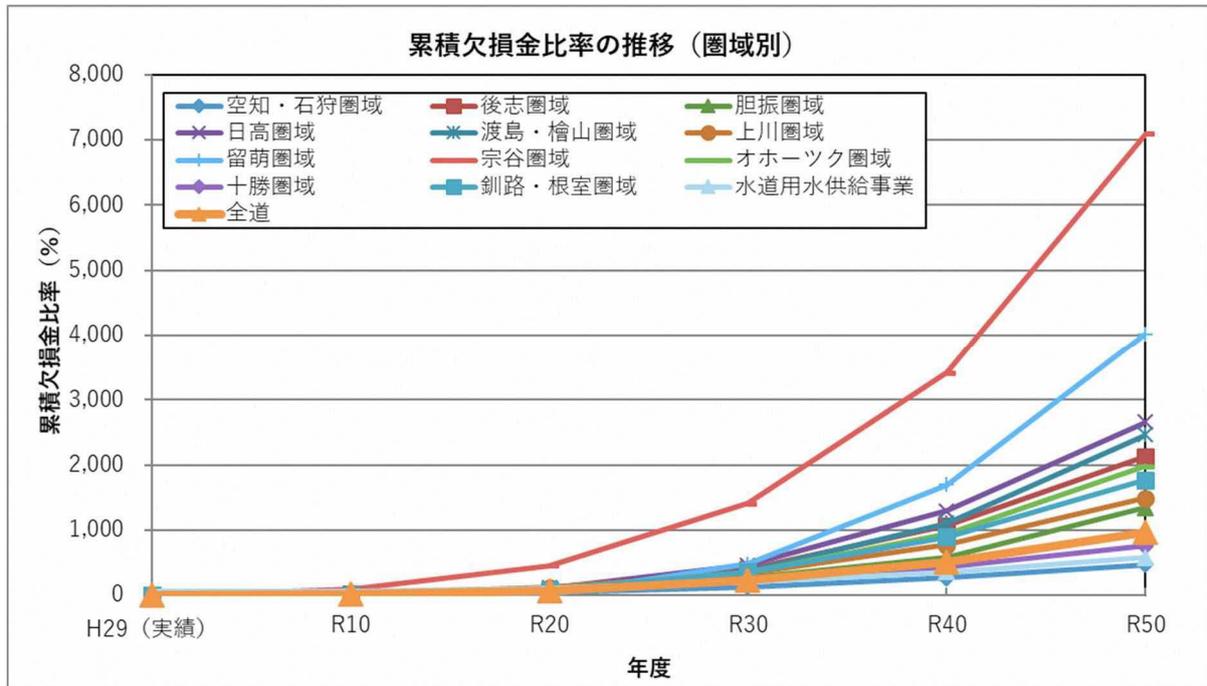
圏域名	H29 (実績)	R10	R20	R30	R40	R50
空知・石狩圏域 (%)	2.5%	19.1%	56.0%	143.2%	297.0%	510.0%
後志圏域 (%)	0.2%	22.5%	83.7%	433.9%	1120.2%	2201.9%
胆振圏域 (%)	2.4%	20.7%	100.4%	276.3%	656.2%	1451.1%
日高圏域 (%)	0.0%	13.1%	118.3%	467.5%	1295.1%	2662.1%
渡島・檜山圏域 (%)	2.4%	0.0%	64.0%	431.3%	1216.0%	2676.5%
上川圏域 (%)	1.9%	35.7%	128.6%	350.0%	803.2%	1532.4%
留萌圏域 (%)	0.0%	1.9%	18.9%	486.1%	1712.1%	4043.2%
宗谷圏域 (%)	0.2%	95.7%	454.5%	1414.4%	3427.9%	7110.0%
オホーツク圏域 (%)	11.3%	25.5%	136.1%	432.1%	1066.2%	2168.4%
十勝圏域 (%)	8.4%	33.6%	93.9%	217.8%	437.0%	757.4%
釧路・根室圏域 (%)	3.1%	5.8%	95.1%	384.3%	944.8%	1838.2%
水道用水供給事業 (%)	57.7%	57.9%	107.6%	207.8%	362.1%	578.4%
全道 (%)	6.0%	23.2%	82.5%	244.6%	548.1%	1018.5%
全国 (%)	0.9%					

※累積欠損金比率(%) = 累積欠損金／(営業収益－受託工事収益) × 100

赤字比率(%) = 実質赤字額／(営業収益－受託工事収益) × 100

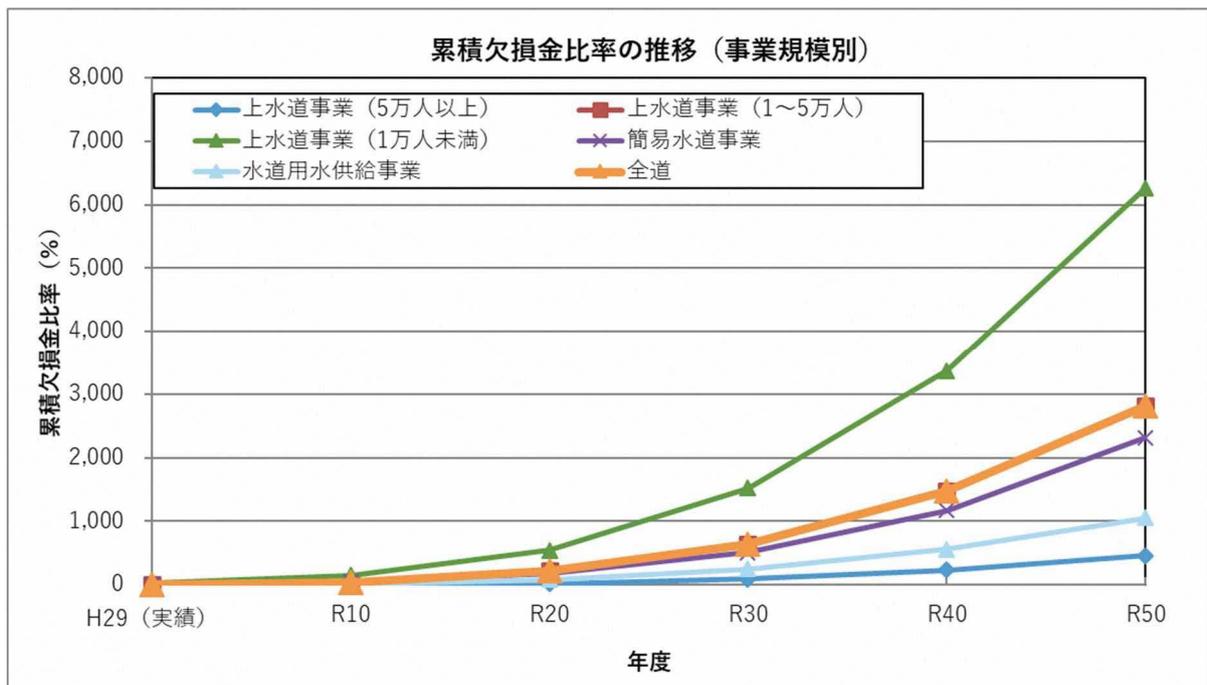
①圏域別累積欠損金比率の推移

圏域別の累積欠損金比率は、人口規模が小規模な留萌、日高、宗谷圏域で大きく上昇する一方、人口規模が大きな空知・石狩、中規模な十勝、胆振圏域などで比較的低位推移し、人口規模による格差が広がる見込みです。



②事業規模別累積欠損金比率の推移

事業規模別の累積欠損金比率は、事業規模による格差が広がる見込みです。



2) 企業債残高対給水収益比率

企業債残高対給水収益比率は給水収益に対する企業債残高の割合であり、企業債残高の規模を表す指標です。

圏域別の企業債残高対給水収益比率について、平成 29 年度実績値と令和 10 年度から令和 50 年度までの 10 年ごとの推計値を示します。

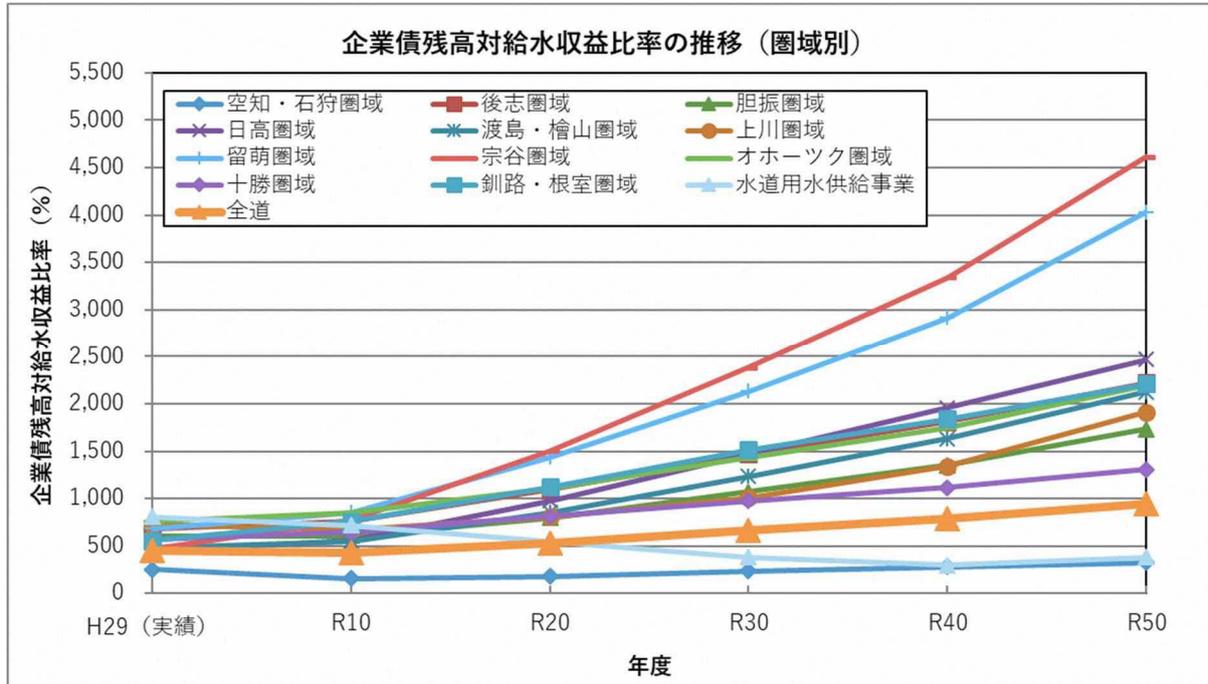
平成 29 年度の道内平均は全国平均と比べると高い結果となっており、ほとんどの圏域で全国平均を上回っています。

圏域名	H29 (実績)	R10	R20	R30	R40	R50
空知・石狩圏域 (%)	252.5%	154.6%	179.0%	233.2%	280.1%	326.2%
後志圏域 (%)	683.5%	757.1%	1092.2%	1470.5%	1812.8%	2221.2%
胆振圏域 (%)	599.5%	604.6%	797.3%	1072.5%	1350.2%	1733.1%
日高圏域 (%)	440.8%	554.7%	973.5%	1472.2%	1959.9%	2465.6%
渡島・檜山圏域 (%)	481.8%	543.5%	850.3%	1232.3%	1631.5%	2126.9%
上川圏域 (%)	723.2%	674.2%	805.4%	1009.6%	1339.8%	1914.3%
留萌圏域 (%)	682.1%	854.2%	1435.0%	2133.7%	2915.3%	4031.6%
宗谷圏域 (%)	468.6%	776.6%	1503.6%	2385.4%	3342.9%	4612.9%
オホーツク圏域 (%)	755.5%	845.2%	1104.5%	1430.4%	1749.2%	2191.4%
十勝圏域 (%)	566.9%	642.6%	812.6%	977.3%	1116.8%	1307.0%
釧路・根室圏域 (%)	554.5%	757.8%	1120.3%	1516.9%	1839.0%	2207.2%
水道用水供給事業 (%)	809.3%	719.4%	550.4%	384.2%	297.4%	382.8%
全道 (%)	448.7%	426.8%	531.4%	662.1%	784.1%	948.4%
全国 (%)	274.3%					

※企業債残高対給水収益比率(%) = 企業債残高 / 給水収益 × 100

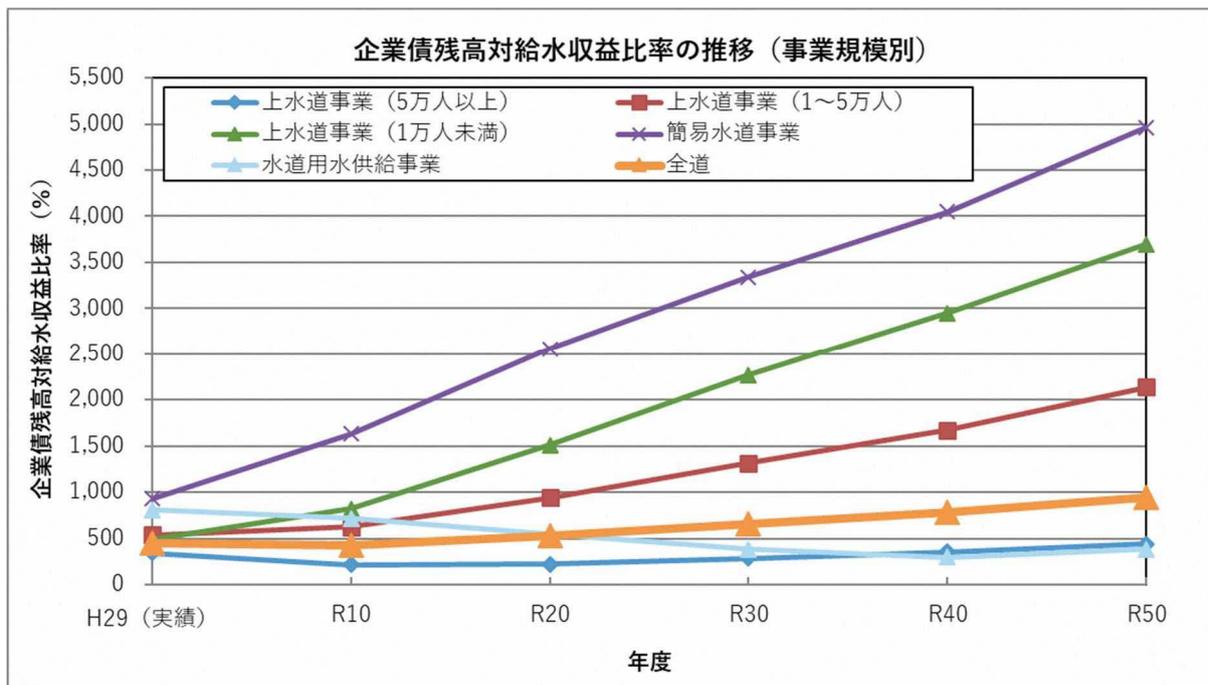
①圏域別企業債残高対給水収益比率の推移

圏域別の企業債残高対給水収益比率は、人口規模が小規模な留萌、宗谷圏域で大きく上昇する一方、人口規模が大きな空知・石狩圏域などで比較的低位推移し、人口規模による格差が広がる見込みです。



②事業規模別企業債残高対給水収益比率の推移

事業規模別の企業債残高対給水収益比率は、事業規模による格差が広がる見込みです。



3) 流動比率

流動比率は流動資産に対する流動負債の割合であり、短期的な債務に対する支払能力を表す指標です。

圏域別の流動比率について、平成 29 年度実績値と令和 10 年度から令和 50 年度までの 10 年ごとの推計値を示します。

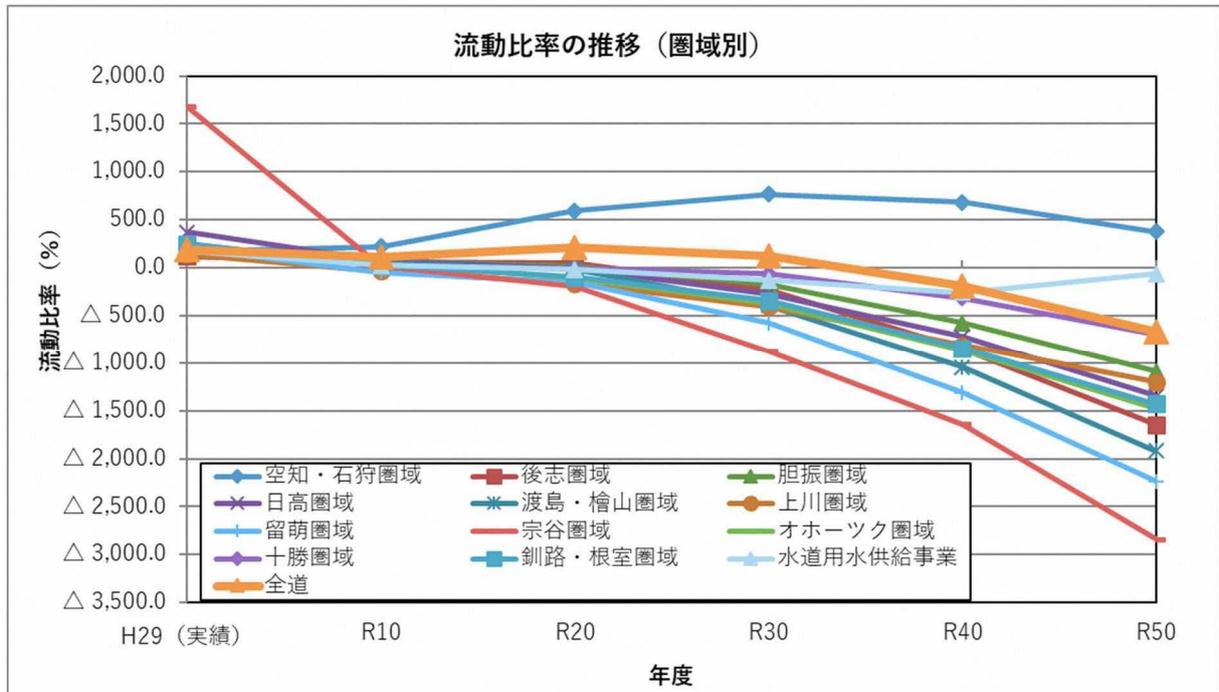
平成 29 年度の道内平均は全国平均と比べると低い結果となっており、ほとんどの圏域で全国平均を下回っています。

圏域名	H29 (実績)	R10	R20	R30	R40	R50
空知・石狩圏域 (%)	170.5%	219.3%	596.7%	766.1%	684.0%	379.2%
後志圏域 (%)	122.4%	61.7%	48.1%	△ 229.8%	△ 849.0%	△ 1,647.0%
胆振圏域 (%)	225.8%	78.4%	21.2%	△ 173.5%	△ 578.3%	△ 1,086.8%
日高圏域 (%)	369.7%	70.7%	△ 9.1%	△ 268.8%	△ 721.4%	△ 1,343.4%
渡島・檜山圏域 (%)	215.6%	50.9%	△ 21.5%	△ 390.8%	△ 1,043.4%	△ 1,917.7%
上川圏域 (%)	141.4%	△ 32.9%	△ 163.9%	△ 404.2%	△ 811.1%	△ 1,200.7%
留萌圏域 (%)	209.9%	△ 44.2%	△ 146.8%	△ 578.7%	△ 1,312.9%	△ 2,238.2%
宗谷圏域 (%)	1,678.1%	12.7%	△ 197.2%	△ 872.9%	△ 1,640.7%	△ 2,840.2%
オホーツク圏域 (%)	243.9%	38.0%	△ 107.8%	△ 371.3%	△ 862.8%	△ 1,472.3%
十勝圏域 (%)	252.6%	17.4%	△ 9.3%	△ 64.9%	△ 314.2%	△ 697.6%
釧路・根室圏域 (%)	249.0%	30.9%	△ 98.9%	△ 343.7%	△ 845.7%	△ 1,426.5%
水道用水供給事業 (%)	174.7%	24.2%	△ 20.9%	△ 132.5%	△ 260.9%	△ 63.7%
全道 (%)	194.9%	109.0%	208.3%	121.0%	△ 191.7%	△ 662.5%
全国 (%)	264.3%					

※流動比率(%) = 流動資産 / 流動負債 × 100

①圏域別流動比率の推移

圏域別の流動比率は、人口規模が小規模な留萌、宗谷圏域で大きく減少する一方、人口規模が大きな空知・石狩圏域などで比較的高く推移し、人口規模による格差が広がる見込みです。



②事業規模別流動比率の推移

事業規模別の流動比率は、上水道事業に関しては事業規模による格差が広がる見込みです。

